

今しか見られない巨大放流管の搬入作業を限定公開

～世界初の洪水吐トンネル施工中の鹿野川ダム～

現在、鹿野川ダム（大洲市肱川町）では、洪水調節能力の向上と河川環境の改善を目的に大改造工事を実施しています。

このたび、下記のとおり改造工事のメインとなる「洪水吐トンネル」（延長457m、直径11.5m）において、重さ150トンの鋼製放流管の搬入作業を実施する予定としており、報道関係及び見学を希望される一般の方に作業を公開いたします。

この作業は、ダム改造事業の中でも最もダイナミックなものの一つであり、工事の規模を体感できるまたとない機会です。今しか見られない作業ですので、ぜひお越し下さい。

なお、当日は貫通間近の「洪水吐トンネル」の内部に入ってくださいこともできます（撮影は全て自由です。）。

記

日 時 : 平成27年3月3日（火）13:00～15:00

場 所 : 鹿野川ダム管理庁舎（大洲市肱川町山鳥坂280）

※当日取材を希望される場合は、あらかじめ下記の問い合わせ先までご連絡をいただきますようお願い致します。

※一般の方の参加者募集は、当事務所HPに「参加者募集のお知らせ」を掲載しています。（<http://www.skr.mlit.go.jp/yamatosa/>）

平成27年2月25日
国土交通省 四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所

（問い合わせ先）

国土交通省 四国地方整備局 山鳥坂ダム工事事務所

電話（0893）34-3000

副所長 三宅 和志 内線（204）
◎工務課長 原田 隆史 内線（311）

※◎主な問い合わせ先

国土交通省 山鳥坂ダム工事事務所

工務課 原田 宛

FAX:0893-34-3367

(3月3日)鹿野川ダム改造工事 見学会 取材申込み

報道機関名	
代表者名	
参加人数	人

※平成27年3月2日(月)17時までにお願ひします。

○開始時間に、「鹿野川ダム管理庁舎」にお集まりください。

(大洲市肱川町山鳥坂280)

○工事現場までの移動は徒歩になります。

国土交通省四国地方整備局

山鳥坂ダム工事事務所

工務課 原田 宛

〒797-1505 愛媛県大洲市肱川町予子林6-4

TEL:0893-34-3000 FAX:0893-34-3367

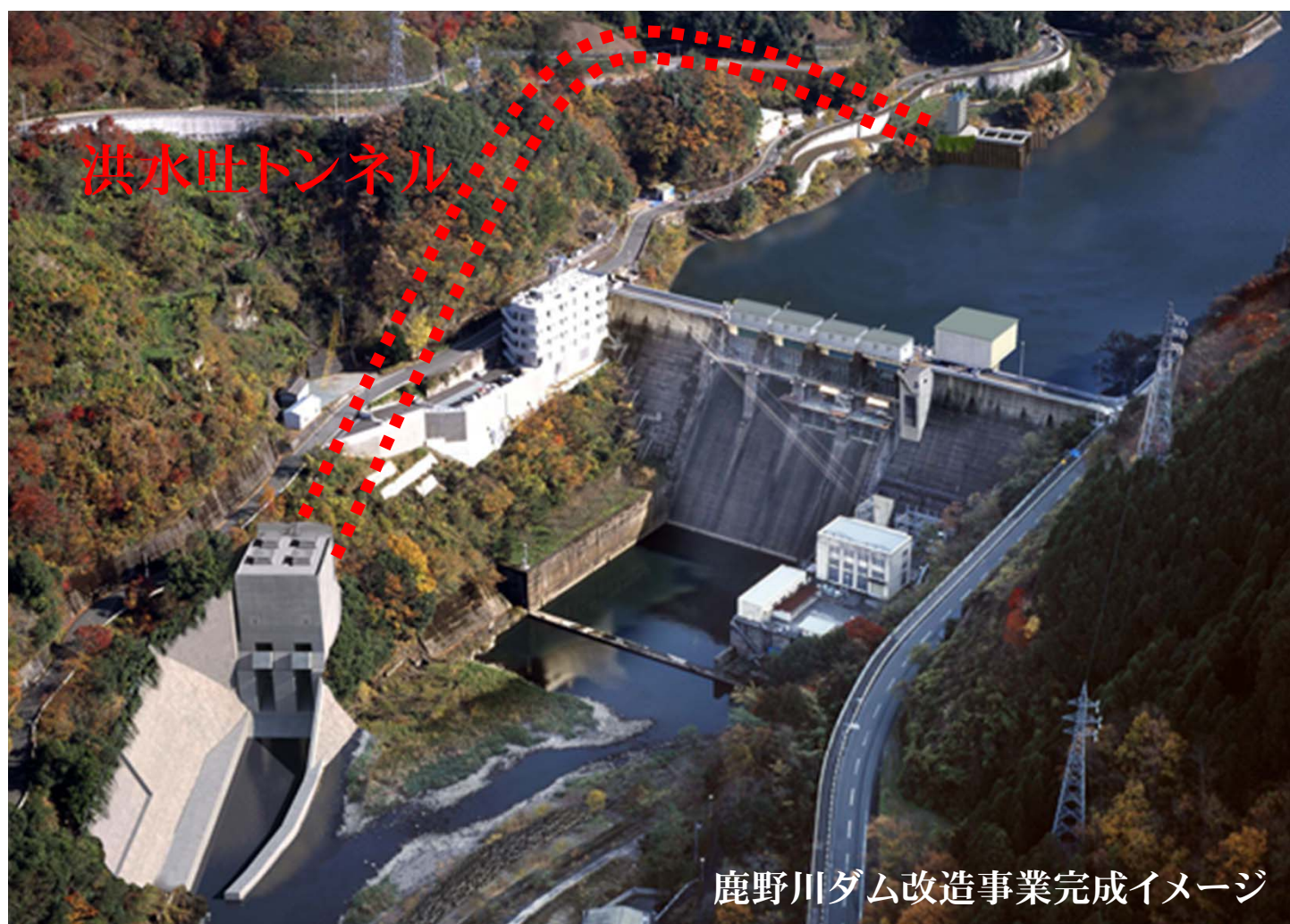
ホームページ: <http://www.skr.mlit.go.jp/yamatosa/>

メールアドレス: yamata61@skr.mlit.go.jp

鹿野川ダム改造事業

ー世界初の洪水吐トンネルー

平成27年3月3日（火）
国土交通省四国地方整備局
山鳥坂ダム工事事務所



鹿野川ダム改造事業

肱川下流域の洪水被害軽減、発電を目的に昭和35年に完成した鹿野川ダム。

50年以上の時を経て、建設当初の役割を残しつつ、より洪水に強いダム、環境負荷の小さいダムとして生まれ変わろうとしている。

現在、平成29年からの運用開始を目指して工事は佳境を迎えている。



洪水吐トンネル

延長457m、直径は11.5mにも及ぶ世界初の洪水吐トンネル。このトンネルにより、鹿野川ダムに洪水を貯める容量を約1.4倍に増強させる。

現在、上流側の呑口部14mを残して概成。今後、呑口部からの掘削によりトンネルを貫通させ、これに続いてトンネルの上下流でゲート設置工事に移っていく。



鋼製放流管

洪水吐トンネルの下流側90mに設置される我が国最大の放流管。管内が完全に満水となる放流時の高圧に耐えられる構造となっている。

トンネル外で15mに接合された重さ約150トンにもなる放流管が、油圧ジャッキによりトンネル内に押し込まれていく様子は圧巻。